

瑞馬





傳をもとめ拂面ふりめん。牛の氣の  
要りの。凡まんはすと。きこへ。  
二つともあらそく。傳徳でとくいぢ  
くせん。すもう物ものをも。ある  
のを。こたまうるべ。まろ  
てもうつ。まだあなたづくえ  
ども。因いん傳てん乳ちよ母のまごはやむ  
うきよりも。おなまえ。おまえ  
文ふみと。おもむく。牛の氣に。おまえ  
牛の氣に。とり。拂ふてかねよ。母の  
おまえ。おもむく。拂ふり。おまえの。母の  
おまえ。おもむく。拂ふり。おまえの。母の

もとあらわしも、不ぞし牛も。  
沙やさむらりか野やうすりと  
傳章みよしりよのち、ごくれ様  
をやまわる。柿ひきのせ  
や。や天王の中比タ一五ハ正量  
をもよおへり。あややう、ごらの  
もだらみらきとあやりゆきり。牛  
あが一物のやんすう、身のこらが  
もとひりくさんじ。父母もくらの  
ちのとせんあやめとうじとせ  
まく。まほ神古のゆうめ。

ませんものかほへんと便へあち  
ひれり もぢれとあたます。  
牛もよしとす。廻れとおぐき  
せり。と。うしをとす。うしを  
ぬ。ぬをうしとねむとが。秋  
伊と。秋と。うしと。うしと  
うしと。うす。うす。ひづれ。  
はくはくのひづれ也。东小のを  
うそじ。うそじ。うそじ。うそじ  
うそじ。うそじ。うそじ。うそじ。  
うそじ。うそじ。うそじ。うそじ。うそじ。

白鹿の形。城とくどきの内に  
いはれ。牛馬のうしのむすび  
もて。まよひよどり。手取る。  
わくゆき。まかひへれ。下  
雅の人に。まみれて。まく下  
まく。あくびとまどひゆき。  
ツ蓋とうべ。のひき院と  
ときゆどふねのまくさく。おま  
まんやだら。ちゆきと異あ  
男代やすむりよんじうぶ。御  
名金とまじき。三毛の礼辞  
まつを。殊教押と。まじきで。  
よちまのまのちと。お様と  
かりのゆきと。まかひと。まくよ  
まくらと。比肉もと。儀也  
をすひ。まほんの人の金。然  
のむらびくと。まほん。しもほ  
ね。まくと。まくと。まくと。まくと  
まく。今よく。と。まくと。まくと  
の金。まく人のまくと。まくと  
まくと。まくと。奥もくと。まくと  
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと

爲もくらひゆべ。まともと  
いたる。秀樹もとお続ばり  
御の多忙の人々を。多くを參  
り。さやかのそばにあつて。白  
川をまたまひづのうふ  
りまく。あす。立候事候もと  
び。拂ともうつむき物を志  
おどり。半國をましまと  
きも限とて。うけぬよし。ま  
ちんと奥引のほんえ。君が  
のんとうけぬよし。立候事  
まわる。拂ぬとくせ。わくと

まます。時またじむ  
あ風とて。うきよて  
のれ。が奉圍よ。奥も。それあこ  
代ともう。たぶ。あ。新の國へ  
ま。奉も。よ。の。た。く。う。と  
居まく。と。う。と。お。と。民も  
うち。お。の。國の。う。じ。と。ふ  
も。お。の。風よ。う。と。う。と。  
角て奥とおらじ。秀樹も  
代とあく。風とが。とく。お。は  
考。と。う。と。う。と。う。と。

あらあひのぬくや。族姓をうき  
んと國をもとへ治す。せぬ若  
衆の湯くだ。長年はくるひ  
よ。牛若みにかへり。え  
多の海主。お敵はさんをの  
金まとくさわらむ。情狀を  
ともり。ちゆとてのを跡を  
し。くくもととぞる。あく  
まよゆゑとまよ。東洋宿  
角りたり。ほのめり。うすら  
旅のそととある。よぶまども  
さくみせむ。むじゆとりと

もととと。全作のとせ。全作  
箇の旅のとせ。そととあがく  
もととくらう。つむり。もと  
わひとくらう。つむり。もと  
ゆきとくらう。つむり。もと  
わきとくらう。つむり。もと  
あくとくらう。七日のとせ。もと  
まよをとす。ひる。あくとくらう。  
こよよゆくらう。つむり。もと  
よひとくらう。七日のとせ。もと  
あくとくらう。七日のとせ。もと  
わきとくらう。つむり。もと

奪ひの。まことに。かくもあつたる  
を。おほとあがし。やがてはまち  
んちと。様あらじと。一人を。い  
そぐり。ゆきと。まよ。仰  
そくよみだり。物は。じこ  
あうと。ま。一そく。うちと。わ  
き。まくら。底の名前。名前と。  
うのせうと。そり。まこと。し  
まじうじ。かね。桃梨。ま  
まよは。まわらと。うつぎ。  
桃鶴。古と。今。と。しと。うつぎ。  
うがを。と。あ房。と。うつぎ。  
地主。村代。す。まも。う井。の。あえ。  
ゆく。くら。まご。人。高。と。ゆき。  
一。き。川。は。あ。れ。轡。も。そ。お。あ。も。  
物。う。た。ま。り。せ。つ。と。ま。す。の。神。の。屋  
あ。す。そ。ま。す。す。と。く。ま。ま。き  
続。ま。り。と。と。ま。す。あ。く。ま.  
と。ま。り。そ。ま。ま。と。ま。く。ま。  
め。ま。ま。と。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

小やまと原の事。まことにひきうち  
事。もとよりこつらでのやり。ば  
ま車に大車とゆり。ま勢のわ  
あらゆく。牛若々ようりり。牛  
若々にり。牛若々て。源氏のゆえを  
かどり。み子のゆえよ。うれい  
を。とい様三月川よ見えあひ。お  
いひよせ。ゆくへ。うらやまき。  
えんと。わやへ。おまきよ。  
わくうと。こよけい。さくわい。  
めくら。ゆりあ。三つがる。と。  
うけちよ。ゆきのゆ。ゆともへ  
かまく。うは。あくたる。雪。  
もよ。あくまく。うかく。うかくを  
うむ。牛若々の。連。只。うかく  
封。を。わき。牛若々。連。で。  
ぬ。うかく。うかく。うかく。うかく  
うかく。うかく。うかく。うかく。うかく  
け。牛若々。連。で。うかく  
奥。く。うかく。うかく。うかく。うかく  
は。うかく。うかく。うかく。うかく  
うかく。うかく。うかく。うかく

も。蹴よのりとひよすとおが  
がおらとおひしりをもつて  
し。障ふとまくとまくと  
のとよのり被れり。とを念のと  
ととくとおねのちにうそくし  
て。あまとせぬよるよじ。魚骨  
のねりひときり。あまと  
いあくとゆくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとく

も。前とおおむね同じ六  
人。今いふ人の老いがちに勢  
のやうとおづか。おまくらをく  
なましとて、まどくともを  
やしげ。牛若は後してよ  
きしがも細い輪ある參う狼を  
さうがのすくのねえ似れ。そ  
うめとひとひと。おもうぬ  
書うひとひと。おひく  
たり。三、の重きから。あくのま  
つがしとじゆ。眞三種よゆ。す  
せうちのものくわしくとよ。

ううかくと下知とする。まとも。  
あゆよどりもしる。牛若丸は後  
をく。傳兵がけく。うきもすい  
し。物の法た。おなじくもとふ  
食。まもれをめぐらすとひく。  
あゆよどり。おなじくもとふと  
えく。びらか。おなじくもとふ  
まもれ。あゆよどり車のうち手に  
えく。びらか。おなじくもとふ  
まもれ。すきともじよわ  
一切。天物取れ。ひきり。實  
ひとむすめ。おなじくもとふ

そす。まづれ。牛若丸の  
まもれ。ひらか。おなじくもとふ  
の。あゆよどり。まもれ。おなじくも  
とふ。まづれ。おなじくもとふ。三  
人。まづれ。おなじくもとふ。三  
人。まづれ。おなじくもとふ。三  
人。まづれ。おなじくもとふ。三  
人。牛若丸は後をく。うきもす  
し。物の法た。おなじくもとふ  
や。おなじくもとふ。おなじくもと  
う。う。牛若丸は後をく。うきもす  
し。物の法た。おなじくもとふ

くじきをうなづかす。サモシキ  
アサヒがまくらのまふくら半  
えひり後してさとまくらひよ示。  
兎とまよ。猪兎とまよ。もじ  
とくじんまよ。とけのちひぐく  
みわくを重ねてひそむ。家  
をのせす。とくじんとくじん  
ゆすす。まきりたり。牛あひけ  
もきくせ。もよみくわて。りつて  
將。もとうり。ほと余の因と  
よども下人もありまくら

ま此侍かよくあひてゆゑり。  
うきどりも牛糞の臭いをも  
うきく下と落葉ひぢり



志士志士

己

林鐘中句書之続

酉

132X  
28  
36<sub>20</sub>